

地球の謎に迫る！

広い宇宙に 数えきれない星の中に
何故地球だけが生物・人間などが生きてゆけるのか？

地球を温室効果ガスから守ろう

石油エネルギーの節約

◆日本の住居を考える◆

すまい



1 地球について

何故、この地球に生物が人間が
生きてゆけるのか！

地球 { 円周 3万7千km
直径 1万2千700km

光の速さは 秒速27万kmです
窒素 78% 酸素 21%

月、火星、金星

大気はあっても非常に少なく
生物は生きてゆけません

**月、金星、火星とも人間が
生物が生きてゆける
気候ではありません**

地表の温度

地球：5℃～25℃（平均）

1気圧の空気あり

月：マイナス170℃～プラス110℃

空気なし よって気圧なし

金星：マイナス45℃～プラス500℃

90気圧

二酸化炭素により猛烈な高温

火星：マイナス150℃～プラス150℃

気圧が低く二酸化炭素が

わずかにある

2 この暑い寒い冷たいの原因は何でしょう？

太陽は、私達惑星・衛星にあたたかい暑い熱を送り続けています。

しかし、それぞれの星の状態によって太陽の熱を適度な温度（0℃～30℃）に保温できるシステムが有るか無いかです。各星に空気が有ったり無かったり、又それに酸素・窒素がバランスよく有って、太陽の熱を一日中昼も夜も温度差が少なく保温できるかが大問題です。この保温と遮温が出来るのは地球だけなのです。

●付け加え

太陽の表面は核分裂と核融合の連続です。真っ赤に燃えているのです。

表面温度が6,000℃とされています。

太陽はその熱を我々惑星・衛星に送り続けているのです。

●生物を構成している主な元素を表示します

窒素 → N 酸素 → O 炭素 → C 水素 → H

3 大気圏について

地球の上空には、1万mにわたって大気圏というものが存在しているのです。

この大気圏は、昼300℃～夜マイナス100℃にならないで、気温5℃～25℃に守っているのです。まさに大気圏という空気の幕は地球を、我々生物を守っているのです。又、どうして地球の空気は宇宙に逃げていかないのでしょうか！ この空気のおかげで我々人間や動物・生物は生きてゆけるのです。

付け加えます

- 1、有機物・空気は熱を逃がしません（植物、動物、空気 etc.）
無機物は熱を保温できません（鉄の棒、ガラス、岩、石 etc.）
- 2、空気を構成する元素は重力があります。よって地球の引力に引っぱられて宇宙には飛び出さないのです。

4 地球が出来て46億年

酸素と水素が化合して「水」が出来ました。酸素と窒素が混合して地球上の空気になりました、この二つの要素が地球気温を守る二大要素です。

そしてこの温度によってH、N、C、Oが化合することによって微生物が発生しました。（有機化合物）です。

数千万年の歴史は温暖化と寒冷化を繰り返し今日に至っています。ある時、この微生物が進化して地球上に緑が繁り花が咲きました。

生物はドンドン進化して微生物から大きな動物へと、大きな植物になってゆきました。樹木も恐竜もそうです。

やがて温暖期から寒冷期の波に入ります、10万年単位の繰り返しです。

寒冷期には氷河期になりました、気温は温暖期のマイナス5度～10度くらいです。太陽の熱量が不足したのか円周が遠くなったかは不明です。

しかし、確実に樹木は枯れ恐竜達は滅んでゆきました。

5 温室効果ガスについて

地球物理から言いますと現代、平成 令和は地球の寒冷期に入ろうと言われているようです。温暖期ではないのですよ！

それなのに平均気温は確実に上がり続けています。

皆さんご存知のように、報道されている大気中の「温室効果ガス」が我々現代人により大量に排出されている事実です。

少量のメタンガス（CH₄）や二酸化炭素（CO₂）は地表を暖める仕事をしてきました。しかし現代は違うのです。温室効果ガスは大量に排出され、地球の温度を上げてしまっているのです。

地球は危険な状態になりつつあるのです。

以下、その地球上の気温を上げている空気物質

※二酸化炭素（CO₂） メタン（CH₄） 一酸化二窒素（N₂O） フロン

6 地球上の生物は平等では？

人口の増加により、今までは植物が炭素を吸収して酸素を出して地球上の空気をきれいにしてきましたのですが、人間のエゴでアフリカの密森を、南アメリカのアマゾンを、他の数々の密森を人間の住む住宅に、工業地帯に変えて砂漠化に住宅地にと地球は危険な環境になっています。

以上の事実があるかぎり、人間は地球を元に戻す責務が有るのではないのでしょうか。

- 人間だけが地球の中心なんだ
- 人間は生きる権利があるんだ はおかしい

私は人間だけが偉い、地球は人間が中心なんだ「他の動物・植物・生物を利用して人間は生きるんだ」「喰いつぶしてOKなんだ」「人間は何人も生きる権利、自由と平等の権利があるんだ」

この権利宣言は中世～近代のものではないのでしょうか。

大事な話

- 人間は地球上の一生物であります
- どの生物も皆生きる権利はあります
- 人間以外のもの全てを踏み潰して人間だけが生き残るなんて 非道です。

日本国政府の政策

○「人口を増やし みんな働かせて より多い人々から より多い税金を集めよう」
地球環境から論じたら正しくないと思います。

絶滅する生物が有るといふのに人間は非道ですね。

○マッカーサーの戦後政治の中に農地解放と相続税法の施行があります。

森林と田畑が霧消するという大きな政策でした。また、それによって日本の食糧自給率は世界最低、100%だったのが35%にもなってしまったのです。



京都嵐山 桂川 渡月橋

7 地球の温度を守ろう

少々の子カラしか有りませんが、地球の温度を守るヒントは地球の温帯地域にある日本の建物です。(北緯30℃~45℃) 平均温度5℃~25℃にある日本の古くから有る建物です。まさに温室効果ガスを出さない建物なのです。前出のとおり天井、障子、畳、ゆか下、それによってクーラーを使わなくても良い建物が1000年も2000年も続いたのです。北欧のように北緯45℃~60℃の国々は少しでも太陽が欲しい、ですから(大きい窓・うすいカーテン・床下は土足で)それぞれ北欧の人々は自分の生を全うしているのです。それを今の日本人は真似をする必要はありません。

8 実験をやってみました

- ガラス戸と障子のあいだの温度33℃、障子と畳和室の温度は23℃でした。
- 室内の家具の温度
無機物のガラス→冷たかった 無機物テーブルの鉄の脚→もの凄く冷たい
- 樹脂コーティングの板フローア→冷たかった
- 有機物の畳→あたたかい ● 有機物の本棚もあたたかさがありました

9 水のありがたさ

空気とともに地球に存在する水。他の星には水(H₂O)はありません。水素と酸素の化合物、水はもの凄く保温力があり大気と共に地球を守っているのです。又、生物を構成する分子(C、H、O、N)の中の60%以上はH₂Oなのです。

まとめ 大気の幕に守られている人間 では、日本人はどうでしょう？



日本の家屋は空気によって守られています。

- 天井の空気分子 ● 床下の空気分子
 - 外ガラスと障子のあいだの空気分子
 - タタミの有機物の空気分子
- お寺の建物がいい例です
畳と障子の素晴らしい仕事ぶり

地球は他の星と違って、1万mの空気分子によって気温が一定になるように守られています。地球の温帯地域に存在している日本、日本の家屋はまさに先人達の知恵によって、遮熱・遮冷の節約建物なのです。(空気分子のたまものなのです)

先人達に感謝しながら 太陽にも感謝しながら
明日に向かって みんな仲よく

畳と襖の専門店 森下和装工業株式会社

〒245-0004 横浜市泉区領家3-9-7
TEL.045-811-4696 FAX.045-810-3255

